



学校テーマ 『喝采が響きあい、地域に愛される法勝寺中学校』

法勝寺中学校だより

No.5 R7.8.27 発行(文責：角田)

2学期スタート

各地で連日40℃を超える気温が記録される異常な夏となりました。そのような中、各部活動は熱中症に十分配慮しながら、活動を行ってきました。駅伝部も8月18日(月)に部結成を行い、練習を開始しました。少しでも涼しい早朝に練習を行い、1週間近く走ってきました。また、各学年夏休み中の勉強会を開催し、集中して勉強に取り組んでいました。今年度は南部町高校生サークルと青年団に声をかけたところ、4名の方が勉強会のお手伝いをしてくれました。勉強していて分からないところを聞くことができました。みなさん丁寧に教えてくれました。

右頁にこの夏休み中の各部活動等の記録を掲載しておりますが、暑い中での大会でも選手は少しでも自分たちの記録を伸ばそうと、また演奏者は自分たちの最高の音を奏でようと頑張りました。

いよいよ2学期がスタートします。2学期には体育祭から始まり、3年生の修学旅行、文化祭と大きな行事が続きます。1つ1つの行事を乗り越えて成長していく姿が見られるのを楽しみにしています。どうか自分に何ができるのか考えながら、それぞれの行事をしっかりと楽しんでいきましょう。

救急救命法を学びました

8月5日(火)に米子消防署南部出張所の生田消防士に来ていただき、職員向けの救急救命法講習を行いました。当日は救急蘇生法について学びました。救急車の出動を依頼してから、到着するまでに平均10分かかるということで、交代で10分間の心肺蘇生法を行いました。

胸骨圧迫を交代で行うのですが、かなりの力が必要で数十回行うとしんどくなるため、交代して胸骨圧迫を行っていききました。10分は思いのほか長く、間をおくことなく行うことの難しさを実体験できました。その後、AED の使用方法や留意点を学び、どうすれば少しでも要救助者を救うことができるのか、研修しました。出来れば習ったことを使わずにいられることがベストですが、いざという時の為に救命法を学んでおくのはとても大切だと改めて感じました。

